

# ごろまるだより 2024 夏号

2024

夏号

季刊4回発行 2024年8月1日発行 通巻132号 編集・発行人/社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院 〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6 TEL.0568-62-8111 発行所/株式会社 日本医療企画 中部支社 TEL.052-200-5451

Topics

## ごろまる医療のチカラ 複数診療科がコラボして女性をサポートするセンター 犬山発の組織として、発展させていきたい

ウーマンライフサポートセンター  
センター長 池上 要介 副センター長 奥村 敦子 看護師 林 綾子

Topics

## ウーマンライフサポートセンターについて

- 地域連携支援センターからのお知らせ
  - ・犬山中央 訪問看護ステーションについて
  - ・高齢者の脱水に注意！熱中症、脳梗塞、心筋梗塞予防にも
- 健康管理センターからのご案内
  - ・骨密度超音波検査機器が新しくなりました
- 第18回ごろまるだより表紙写真コンテスト審査結果発表
- 本館建て替えに向けてのご案内
- 出前講座「睡眠時無呼吸症候群 医科歯科連携について」
- 出前講座「高齢者と医療 ～健やかに生きるコツ～」
- 子宮頸がん予防HPVワクチン、キャッチアップ接種のご案内

## 本館建て替えに向けてのご案内【続報】

### 新病棟のパースが完成しました



北側からの見上げイメージ

既存本館のシャープな水平基調のデザインを踏襲しつつ、より都市的な佇まいの外観デザインを目指すことで、これまでの想いや理念を未来につなぎ、発展させていく憧憬を演出します。優しいフォルム、モダンで品格のある外観は地域の皆さまに安心感と健康志向のメッセージを発信します。

※今後の進捗により、デザインやカラーは変更となる場合がございます。

### 出前講座

## 「睡眠時無呼吸症候群 医科歯科連携について」

講師：齊藤 雅也（院長） 主催：犬山扶桑歯科医師会様

総合犬山中央病院では、当院スタッフが講師として近隣のイベントにお伺いする「出前講座」を行っております。2024年4月27日（土）、犬山扶桑歯科医師会さま主催にて、当院の齊藤 雅也院長が「睡眠時無呼吸症候群 医科歯科連携について」をテーマに講演を行いました。睡眠時無呼吸症候群の臨床を医科の立場から、また、閉塞型睡眠時無呼吸症候群の原因などについてお話をいたしました。



### 出前講座

## 「高齢者と医療 ～健やかに生きるコツ～」

講師：齊藤 雅也（院長） 主催：犬山市老人クラブ連合会様

2024年6月12日（水）、犬山市老人クラブ連合会様主催にて尾張北地区老人クラブ大学講座が犬山市民文化会館で開催され当院の齊藤 雅也院長が「高齢者と医療～健やかに生きるコツ～」をテーマに公演を行いました。出生数、死亡数の推移や健康づくりのための身体活動などについてお話をいたしました。会場内も終始和やかな雰囲気、参加者様もとても満足している様子でした。



## 子宮頸がん予防HPVワクチン、キャッチアップ接種のご案内

キャッチアップ接種の対象者（1997～2007年度生まれの女性）が **公費助成（原則無料）** で接種を受けられるのは **2025年3月末まで**です。  
9価HPVワクチンは**最低6ヶ月必要**です！  
2024年9月30日までに1回目を接種しましょう。  
実費で接種すると最大10万円（3回分合計）かかります。



**予約枠が増えました。希望者は婦人科外来にまずはご相談ください！**

総合犬山中央病院  
理念

地域の人々が安心して暮らせる  
心の支えとなる病院を目指します



救急は24時間365日受け付けています。

当院は敷地内全面禁煙です。（屋内屋外含め全て禁煙）

社会医療法人 志聖会  
総合犬山中央病院

〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6  
TEL.0568-62-8111  
<https://www.inuyamachuohospital.or.jp>

# 総合犬山中央病院ウーマンライフサポートセンター 複数診療科がコラボして 女性をサポートするセンター 犬山発の組織として、発展させていきたい

副センター長・医師  
**奥村 敦子**

センター長・医師  
**池上 要介**

看護師  
**林 綾子**



ウーマンライフサポートセンターでは、女性に関する様々な疾患やお悩みに対し、泌尿器科と婦人科が診療科の枠を超えて協力し診断・治療・ケアサポートを行っています。今回は、センター長である泌尿器科医の池上要介先生(写真中央)と副センター長である婦人科医の奥村敦子先生(写真左)、そして排尿機能検査士の資格を持つ看護師の林綾子さん(写真右)にセンターの特徴や対応疾患についてお話をお伺いしました。

**泌尿器科、婦人科、専従の看護師と連携し、患者さんのケアサポートを一緒に提供**

——ウーマンライフサポートセンターを立ち上げることに。たきつけを教えてください。

**池上** 僕が、女性専門の泌尿器科として、女性の尿失禁や骨盤臓器脱などの診療を始めたのが2012年からです。それから2年くらい診療し、2014年泌尿器科の部長をしていた時に、女性泌尿器科という診療科を作りました。その時、婦人科のドクターと一緒にやろうと言っていたのですが、様々な問題があり一緒にできなくて、単独で泌尿器科のスタッフと女性泌尿器科を兼ねる形になってしまったのです。元々、複数診療科で、診療や手術、カンファレンスをやりたかったという気持ちのひとつの前提としてあります。

女性泌尿器科には、理学療法士、栄養士、看護師などの人材がなかなかいなかったため、最初は医師と理学療法士の女性だけでやっていました。医者というと一般の人

から見ると、敷居が高いところないがちなので、そこまで下がって

いけないような医者にならねばならないのですが、もっと近いところで患者さんの意見を聞いて僕のところまで持ち上げてくれるような体制ができたらいなと思っていました。でも、なかなかできませんでした。そんな時、たまたま排尿機能検査士でもあり、泌尿器科の診療が好きで何でも意欲的に取り組んでくれる人材がいたので、患者さんのケアサポートと一緒に提供できるセンターを立ち上げることができました。今までにない全く新しいことを犬山発でやっていこうとずっと思っていた

のがきつけです。

——チーム編成について教えてください。

**池上** 今現在は、人材が少なく、僕と泌尿器科の男性医師と4月から就任している泌尿器科の女性医師と婦人科の奥村先生、そして専従の女性看護師2名の6人体制でやっています。今後のプランとしては、女性の理学療法士や管理栄養士さんも入れて、婦人科だけでなく、皮膚科や乳腺外科など女性疾患に関わるような医師を獲得し、組織を大きくしてできることを増やしていきたいと思っております。

**ウーマンライフサポートセンターではちよつとした相談や困りごとに**  
**対応しています**

——センターではどんな患者さんを見ていらっしゃいますか。

**池上** 対応疾患としては、骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁、過活動膀胱、間質性膀胱炎、その他婦人科疾患などです。デリケートゾーンのかぶれや不快感など、ちよつとした



相談とか困りごとを受けるようにして敷居を下げてやっています。皮膚のスキンケアや下着の相談も受けて販売もしています。美容やダイエットの様なことにも発展させて病院のウリの1つの組織にしていきたいです。

**奥村** 婦人科に来院した患者さんで、ウーマンライフサポートセンターに紹介しているのは、陰部の不快感やケアなどの悩みがある方で、相談のつてもらえることをお伝えすると「ぜひ行きたい」と言われます。骨盤底筋トレーニングやペッサリーの着脱指導も評判

が良いですね。性交痛の問題から、産後尿失禁、デリケートゾーンの悩みなど、手探りで始めています。が対応しています。今後はPMSや月経の困り事の相談も受けたいです。

——外来での印象的なエピソードを教えてください。

**林** なかなかこういったデリケートなお話は、お友達にも言えないし、家族にも言い出せなかったという人が多いので、そういう方が気軽に何でも話してもらえればなればいと思って始めています。私は、患者さんに「おうちに帰ってからでも何でも困ったことがあればお電話してもらっていいですよ」と声をかけるのですが、本当に何回もお電話してくれたり、先生の診察がない日でも「林さんがいるなら」と言ってきてくださった方がみえます。その患者さんは無事に手術も終え、体調も良くなったのですが、いい関わりができたなあと思っていて。「林さんがいてくれてよかったです」と言われると、患者さんと関わってよかったですと実感しています。

# ウーマンライフサポートセンターについて

泌尿器科と婦人科の医師だけでなく、排尿機能検査士の資格を持つ専従の看護師が専門知識を駆使し情報共有して、お一人おひとり女性のいのちや健康、生活をサポートします。骨盤内臓器に関するお悩みなど女性特有の疾患に、泌尿器科と婦人科が協力し、診断・治療を行っています。

●泌尿器科は2024年4月から女性の泌尿器科医師が着任し、女性にとって受診しやすい環境を整えています。木曜は女性専用の泌尿器科外来を設けています。

## 対応疾患例

- ◎女性の尿失禁（腹圧性、切迫性、混合性）
- ◎過活動膀胱（難治性） ◎神経因性膀胱
- ◎膀胱腫瘍（医原性、放射線性など）
- ◎骨盤臓器脱（子宮脱・膀胱瘤・直腸瘤・再発・膣断端脱）
- ◎尿道脱、尿道カルンクル ◎間質性膀胱炎 ◎尿道憩室
- ◎女性特有の排尿・蓄尿に関する不定愁訴

## 看護師のケアサポート

排尿機能検査士の資格をもった専従の看護師を始めとして、専門の知識を持った看護師が日々の生活のケア・サポートをします。日常の生活の質を上げるためのお手伝いを、一人ひとりに寄り添って行います。お悩みをお伺いし、適切なスキンケアや症状に応じた下着のご案内などをします。



平日(月～金)の婦人科の診察は、女性医師が担当しております。



# 「こんな事自分だけ？」と悩んでいませんか？

- 産後膣の締まりがゆるくなった気がする。  入浴後膣から水が漏れてくる。
- くしゃみをすると尿が漏れる。  尿漏れがあり誰かに相談したい。
- ペッサリーを自分で脱着できるようになりたい。
- 陰部が荒れている・かゆい・赤い、おりものが臭う・多い。
- 膣から何か出てきている気がする…。

そんな女性の皆さん、ぜひウーマンライフサポートセンターへお越しください。 **お子様連れOK**

火曜・木曜(午後)は、看護師による外来も設けています。手術についての質問や不安な思いなど、お気軽にご相談ください。

- < 費用 > 骨盤底筋トレーニング：2,200円  
※自費診療となります 消費税込  
 ペッサリー着脱指導：2,200円  
 相談：1,100円  
 < 予約受付時間 > 平日(月～金) 13:30～15:30  
 < 問合せ番号 > 0568-62-8111 (代表)

## ウーマンサポート外来診察時間

	火	木
	14:00 16:00	14:00 / 14:30 15:00 / 15:30 16:00

※所要時間は1回につき約30分(平日)



相談しやすい環境を整えていますので、悩んだら、どんなことでも気軽に相談してほしい

——排尿機能検査士の資格をもった看護師さんはどんなサポートをされているのでしょうか。

林 ウーマンサポート外来の骨盤底筋トレーニング指導では患者さんに合わせて出来る方法を見つけてながら、どれが一番上手に出来るかを探して継続してもらおうようにしています。先生から紹介される患者さんの多くは、尿もれで悩んでいて、骨盤臓器脱の患者さんにも関係してくるのですが、尿



もれパットをあてていると、どうしても臭いやムレで肌があれてきたりします。できるだけ体操を通して、尿もれパットから離脱できる生活をしていこうとお伝えしている、吸水シートで対応できる方には商品を紹介しています。正しくスキンケアすることで、薬に頼ることなく、荒れたり赤くなったりせず臭いも防げるので、そういうことで悩まずに生活できるよ

——患者さんへのメッセージをお願いします。

池上 デリケートな悩みのことなので、なかなか受診しにくいことですが、女性の泌尿器科医師が誕生したことで、男性医師よりも相談しやすくなりました。ナース外来を含めて4月から体制が整っていますので、何でも相談にきてもらえたらいいかなと思います。

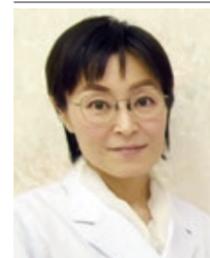
奥村 犬山には、女性の感じる不快感の相談をどこでしたらいいのかわからないという人が多く、婦人科を受診される方が少ない印象があります。それをふまえて、私

と想っていることの1つが、「女性の婦人科の先生がいるから受診しました」と言われる方が増えたことです。

婦人科も泌尿器科も女性医師が赴任していますので、受診していただけたらと思いますし、看護師さんが指導してくれる体制ができてきたので、まずは悩んだら病院にきてもらえるような評判のよい病院にしたいと思っています。大きな病気でないけど、困っていることを早めにケアすることで、症状が酷くなるのを防げるセンターができたのは、街の人にもいいことですし、病院の魅力として紹介したいですね。

林 個別で2人きりになると皆さんいろいろ聞いてくれるから、たぶん困りごとがあるけど、誰に聞いていいかわからないし、こんな症状は自分だけかなと悩んでいる人がたくさんいると思うのです。だから、どんなことでもお気軽に相談してください。

おくむら あつこ



(現・婦人科)でも非常勤医として勤務していたが、2022年3月より常勤医となる。日本産科婦人科学会産婦人科専門医。2024年4月ウーマンライフサポートセンター副センター長就任。

いけがみ ようすけ



総合犬山中央病院泌尿器科部長就任。日本泌尿器科学会泌尿器科専門医。臨床研修医指導医。2024年4月ウーマンライフサポートセンター長就任。

はやし あやこ



総合犬山中央病院看護師。排尿機能検査士資格取得。ウーマンライフサポートセンター専従スタッフ。(コメント)ウーマンライフサポートセンターは高齢者はもちろん、学生なども利用できます。火曜と木曜の午後は看護師によるサポート外来を設けていますので困ったことや悩み事などがありましたら気軽に相談しに来てください。



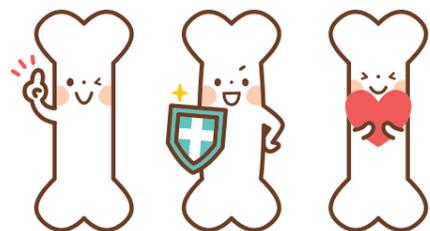
## 健康管理センターからのご案内

### ●骨密度検査機器「cm-300(canon)」

この6月から、骨密度超音波検査機器が新しくなりました。  
この骨密度検査機器は、かかとの骨の強さを超音波で測定します。  
放射線を使用しない測定方法のため、妊産婦や若年者の方でも安心して検査ができます。  
将来の骨折予防として自身の骨の状態を把握する事は食事・運動の生活習慣を整える  
きっかけになります。

早目に骨密度測定を受けましょう！

お問い合わせは、当院健康管理センター  
までお願いいたします。



【お問い合わせ】健康管理センター TEL.0568-62-8246(直通)



## 地域連携支援センターからのお知らせ

### ●犬山中央 訪問看護ステーションについて

犬山中央 訪問看護ステーションでは、看護師や理学療法士がご  
自宅に訪問し、病気や障害に応じた看護ケアやリハビリテー  
ションを提供します。住み慣れた地域やご家庭で、その人らし  
く、いきいきと療養生活を送れるようにお手伝いします。



#### こんなときにご利用下さい

- 退院後、自宅での生活が不安だ
- 自分に介護や床ずれの処置ができるだろうか
- ひとりで入浴ができるだろうか
- 最後を自宅で過ごしたいという希望を叶えてあげたい
- 薬の飲み間違いが多くなってきた ……など

緊急時は365日24時間対応します



#### どうすれば訪問看護を受けられるの？

お住いの地区の地域包括支援センター(犬山市の場合は高齢者あんしん相談  
センター)やケアマネジャー、受診している医療機関にご相談ください。  
また、当ステーションにご相談していただければ対応いたします。

【お問い合わせ】犬山中央 訪問看護ステーション TEL.070-5443-2216



## 第18回 ごろまるだより表紙写真コンテスト 審査結果発表

この度もたくさんのご応募を頂きありがとうございました。ここに入賞作品3点を発表いたします。

募集テーマ：「花火」

#### 優秀賞(表紙採用)



撮影者：鈴鹿 香 様(犬山市)

タイトル：「孔雀」

コメント：国宝犬山城の後ろに孔雀の羽のように  
美しい花火がとても綺麗で感動しました。

#### 入選



撮影者：熊沢 敏裕 様(犬山市)

タイトル：「競演」



撮影者：丹羽 明仁 様(小牧市)

タイトル：「幻想の花火」

#### 次回コンテストの ご案内

ごろまるだより  
秋号表紙写真

秋号テーマ：「紅葉狩り」季節感にあふれる、皆さまの力作を  
お待ちしております。

締切：2024年8月15日(金)17:00まで

★秋号は2024年10月上旬発行予定です。

お問い合わせ：広報兼医師採用・サポート課(広報誌担当) TEL:0568-62-8111(代表)

詳しく  
はこちら



優秀賞・入選作品は大型写真にプリントし、当院1Fに展示いたします。また当院ホームページでもお知らせいたします。

## 訪問看護師より

### 高齢者の脱水に注意！

熱中症、脳梗塞、心筋梗塞予防にも高齢者は特に注意が必要です。

#### 1. 体内の水分が不足しがちになる

高齢者の体内の水分量は50%で、成人の60%に比べて少ないです。また食事摂取量が減っているため食事からとれる水分量が少なくなります。

#### 3. 病気や排泄障害がある

糖尿病の方は増えすぎた糖を輩出しようと尿がたくさん出るため、体内の水分量が不足しやすいです。

#### 2. 感覚機能が低下している

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなっています。

#### 4. 薬を服用している

血圧を下げる薬には利尿作用を含んでいるものがあるため、内服中の方は注意が必要です。



#### 脱水症かんたんチェック

- 手が冷たい
- トイレに行く回数が減っている
- わきの下が乾いている
- 舌が乾いている
- ハンカチーフサインをみる(皮膚をつまんで、3秒以上もとに戻らない)
- 親指の爪先を押して、2秒以内に赤みが戻らない

脱水症や熱中症が疑われたら、経口補水液が有効です。口から点滴をするように、  
少しずつ飲みましょう。補水しても回復しない場合は早めに主治医に相談しましょう。

#### 手作り経口補水液の作り方

水……………1リットル  
砂糖……………40g(大さじ4と1/2杯)  
塩……………3g(小さじ1/2杯)  
レモン汁などお好きなもの……適量

病気により水分や塩分・糖分の制限が必要な方は、主治医と相談して体調に合った水分補給をしてください。  
秋から冬にかけても「かくれ脱水」になる方がいらっしゃいます。なんとなく体調がすぐれない時、上記を気にしてみてください。



家庭にある材料で  
簡単に作れます